



赤城山環境ガイドボランティア
棚橋 弘さん

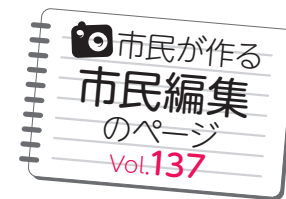
魅力
再発見!

赤城山を乐しもう

キャンプやツリーイング、ハイキングなど、雄大な自然を生かしたさまざまなアクティビティが体験できる赤城山。今回は、今の時期

だからこそ体験できるボートでのワカサギ釣り、年間をとおして多くの人が訪れる覚満淵を散策し赤城の魅力を体感してきました。

担当 坂井 麻由、菅野 朔来 図 市政発信課 ☎027-898-5847



現在バリアフリーの木道を整備中で、完成すれば車いすの人も今よりもっと行きやすくなります。その際はぜひ花ごよみをもって散策すると面白いと思います。



覚満淵花ごよみ(※)を片手に、木や咲いている花についてなぜそう呼ばれているのかや見分けるポイントなどを聞き、覚満淵の自然について楽しく学ぶことができました。覚満淵の北側は尾瀬ヶ原に似た湿地帯で、3メートル以上の泥炭層は一度踏みつけると10年以上以上に戻らないと聞き驚きました。

覚満淵を散策 赤城山へ来た多くの人が訪れる覚満淵。ここには多くの植物が生息しています。時季によって見られる植物は異なり、何度訪れても楽しむことができます。例年、6月から10月下旬までの土日曜・祝日には赤城山環境ガイドボランティアによるガイドを実施。今回は棚橋弘さんガイドの下、覚満淵を散策しました。



常連だという市内在住の久下さん。今日はあまり釣れないと言いつつ、一度に何匹も釣り上げます。大きいもので13cmくらいのワカサギが釣れていました。

ボートでワカサギ釣り体験 赤城山山頂の湖・大沼ではワカサギ釣りが体験できます。冬の氷上で行うイメージもあるワカサギ釣りですが、例年、9月から11月まではボートでの釣りができます。氷上よりも釣れやすく、常連の人も多いようです。今回はボートなどの貸し出しを行う青木さんに案内をしてもらいました。魚影探知機で魚のいる場所を探してもらい釣り方も丁寧に教えてもらったので、初心者でも合せて9匹を釣ることができました。この日は常連の皆さんも多く、数



釣ったワカサギは天ぷらに。身がやわらかくておいしい!

匹同時に釣り上げるところを間近で見たりこつを教わったりすることができました。赤城のワカサギは賢いようで、簡単に餌に引っかかってくれず試行錯誤しながら楽しめます。なかなか釣れない時間もありましたが、釣れ始めると竿を入れてすぐに釣れることも。食いつきの良い日とそうでない日はやってみないと分からないそうですが、秋に大沼に浮かべたボートから見える紅葉もきれいだと思うのでぜひ多くの人に行ってみてください。

ボランティアなどの協力で 自然を保護～覚満淵のひみつ

覚満淵は赤城山山頂部全域に広がる水深80mのカルデラ湖だった古大沼が、水位の低下によって取り残された湿地帯です。1時間弱で周遊でき、モウセンゴケやニッコウキスゲなどの湿原の植物が観測できます。覚満淵の自然はボランティアの協力で保護。ササ刈りやススキ刈りをして草地性の植物を守っています。

※覚満淵花ごよみ

覚満淵周辺で見られる、100種類以上の花の開花時期などが分かるパンフレット。4年の調査期間をかけて赤城山の自然保護活動推進協議会と赤城自然塾が中心となり作成しました。

赤城山は自然にあふれた場所であるとともに、その環境を守り誰が楽しめるための工夫や整備がされている素敵なところ。これからの時季、ワカサギ釣りをしたり覚満淵を歩いたりしながら赤城山を存分に楽しんでほしいです。



編集後記

赤城山はとても涼しいので暖かい格好で行くことをお勧めします!

坂井

初めてのワカサギ釣りでも、楽しい時間を過ごせると思います。

菅野

ワカモノ記者 SNSも見てください!



Instagram



フェイスブック

冬の氷上ワカサギ釣りは貴重!?

冬には大沼に氷が張り、氷上でワカサギ釣りが楽しめます。地球温暖化で氷上ワカサギ釣りができる場所は全国的にだんだんと減っているそう。ボートのほうがよく釣れるそうですが、氷上の難しさも魅力です。

